

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成24年7月19日(2012.7.19)

【公開番号】特開2012-95647(P2012-95647A)

【公開日】平成24年5月24日(2012.5.24)

【年通号数】公開・登録公報2012-020

【出願番号】特願2011-220971(P2011-220971)

【国際特許分類】

A 2 3 F 5/28 (2006.01)

【F I】

A 2 3 F 5/28

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月4日(2012.6.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

次の成分 (A) 及び (B) ;

(A) クロロゲン酸類：乾燥固形分中に 100 ~ 300 mg / g、及び

(B) 5 - ヒドロキシメチルフルフラール：乾燥固形分中に 0.33 mg / g 以下
を含有し、乾燥固形分が 10 ~ 100 質量%のコーヒー濃縮組成物。

【請求項 2】

当該コーヒー濃縮組成物の乾燥固形分中の (A³) ジカフェオイルキナ酸類と (A) クロロゲン酸類との含有質量比 [(A³) / (A)] が 0.05 ~ 0.16 である、請求項 1 記載のコーヒー濃縮組成物。

【請求項 3】

当該コーヒー濃縮組成物をガスクロマトグラフ質量分析法 (GC / MS 法) で分析したときの (C) 2 - メチルピラジンと (D) 3 - メチルブタナールとのピーク面積比 [(D) / (C)] が 0.1 以下である、請求項 1 又は 2 記載のコーヒー濃縮組成物。

【請求項 4】

当該コーヒー濃縮組成物の乾燥固形分中の (A) クロロゲン酸類の含有量が 102 ~ 250 mg / g である、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載のコーヒー濃縮組成物。

【請求項 5】

当該コーヒー濃縮組成物の乾燥固形分中の (B) 5 - ヒドロキシメチルフルフラールの含有量が 0.001 mg / g 以上 0.3 mg / g 以下である、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載のコーヒー濃縮組成物。

【請求項 6】

当該コーヒー濃縮組成物の乾燥固形分中の (B) 5 - ヒドロキシメチルフルフラールの含有量が 0.005 mg / g 以上 0.27 mg / g 以下である、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載のコーヒー濃縮組成物。

【請求項 7】

当該コーヒー濃縮組成物をガスクロマトグラフ質量分析法 (GC / MS 法) で分析したときの (C) 2 - メチルピラジンと (D) 3 - メチルブタナールとのピーク面積比 [(D) / (C)] が 0.0001 以上 0.1 以下である、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載のコーヒー濃縮組成物。

【請求項 8】

当該コーヒー濃縮組成物をガスクロマトグラフ質量分析法（GC/MS法）で分析したときの（C）2 - メチルピラジンと（D）3 - メチルブタナールとのピーク面積比〔（D）/（C）〕が0.0005以上0.080以下である、請求項1～6のいずれか1項に記載のコーヒー濃縮組成物。

【請求項 9】

L値14～20の第1の焙煎コーヒー豆と、L値25～40の第2の焙煎コーヒー豆を含み、L値の平均値が21～28.5となる焙煎コーヒー豆の混合物から得られる、請求項1～8のいずれか1項に記載のコーヒー濃縮組成物。

【請求項 10】

形態が、液体、粉末、顆粒、又は錠剤である、請求項1～9のいずれか1項に記載のコーヒー濃縮組成物。